

「越谷サンシティ整備基本計画(案)」に対するパブリックコメントの意見全文と「市の考え方」一覧

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
1	(1)	コンセプト	建物×デザイン ■理由 一般的な機能だけを満たした建物リニューアルでは、進化したように感じないので、デザイン要素を多く取り入れて欲しいです。 <キーワード>ワクワクする、楽しそう、笑顔がたくさん生まれそう <例1>安藤忠雄さんが神戸のこども図書館に関与 <例2>柏の葉・浦和にある蔦屋書店 <例3>北欧の図書館	ご意見のとおり、デザインも大変重要な要素のため、11ページ「①シビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します
	(2)	施設整備・機能	大人の学び場 ■理由 ベッドタウンと言われていますが、コロナの影響で地元こしがやにいる時間が圧倒的に長くなりました。文化施設（ホール、美術館、博物館）に絡めた学びの場があれば、都内に行くことなく、豊かな生活をおくれるのではないかと考えています。 *現在、サンシティメンバーズに入会していますが、さらに知的好奇心を満たすものを期待しています。 <例>森美術館のアートメンバーシップ	基本計画（案）では、公共施設（機能）の方向性の一つとしてイベントホールや図書室を掲げております。ご意見の「大人の学び場（文化施設に絡めた学びの場）」については、他のホールの事例などを参考に、施設における学習機会の提供についても、検討を進めてまいります。 また、「民間施設の方向性」の一つに、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、文化創造に寄与する施設も例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
2	(3)	施設整備・機能	これまでどおり、多目的イベントやコンサート会場としての機能を保ちつつ、プロバスケットチーム「越谷アルファーズ」の試合が出来る会場となれば、駅からのアクセスも良く、街もチームも活気ずくと考えます。 例えるなら、さいたまアリーナのような機能的に近い施設になればと期待します。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO	該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
3	(4) その他	整備基本計画の結論が見えない。 4-②「公共施設」と「民間施設」の考え方で示されたものが結論とするならば、現在と同規模・同用途のものを公共施設として建設し、民間施設については、民間事業者に丸投げするというのか？ 結果として今と同程度の施設＋民間施設ということであれば建て替えの意義が全くなく、税金の無駄遣いでしかない。その結論になるのなら断固反対。再考を望む。	現在の越谷サンシティは、オープンから40年余りが経過し、施設の老朽化が見られ、施設を長寿命化するためには、大規模な改修が必要であり、相応の費用負担が想定されます。また、建物の構造上、商業施設または市民ホールのいずれか片方のみを建て替えるには技術的制約があることから、新たな越谷サンシティの整備にあたっては、「建て替え」「民間活力の活用」「公共施設および民間施設一体での整備」としています。 具体的な施設（機能）として、公共施設（機能）については、越谷サンシティ整備懇談会（報告書）やヒアリングの結果などを参考に、市民の生活や利便性の向上など、行政として整備すべきものとして、これまでと同様の用途、規模を維持し、特にイベントホールについては現施設と同規模以上の整備をしてまいりたいと考えています。 また、民間施設については、民間事業者の提案によりますが、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能を求めています。 このように、本事業は、市で事業の基本的な条件を整理したうえで、民間事業者のノウハウや創意工夫を最大限引き出すよう努めていくものです。 このことから、ご意見にある「民間施設については、民間事業者に丸投げする」「建て替えの意義が全くなく、税金の無駄遣いでしかない」とは考えておりません。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

	(5) 施設整備・機能	「1万人規模の多目的アリーナ」という構想は多くの市民から意見があがっており、懇談会の中でも取り上げられている。民間事業者が手を挙げないから出来ないというのは行政の怠慢。国からの補助金、民間資金を活用し市民の声を形にするためにリーダーシップを取り、話をまとめるよう動いてほしい。採算が取れないから市ではやらないということではなく、どうしたら採算の取れる施設にできるか考えることが行政の役目だと思う。	「民間事業者が手を挙げないから出来ないというのは行政の怠慢」「採算が取れないから市ではやらないということではなく」とのご意見ですが、基本計画（案）で、そのような市の見解は示しておりませんし、採算が取れず、民間事業者が参入しにくい施設でも、多くの市民のニーズがあり、真に市民サービスの向上に資する施設等などは、市が設置していく必要があることは認識しております。 一方で、今後もこれまで以上に、効果的・効率的な行政運営が求められることも十分認識しているところであり、新たな越谷サンシティの整備にあたっては「民間活力の活用」「公共施設および民間施設一体での整備」とし、民間事業者のノウハウや創意工夫を最大限引き出すよう努めてまいります。 「1万人規模の多目的アリーナ」はご意見のとおり、越谷サンシティ整備懇談会のなかでも提案された意見ですが、懇談会では、同意見に賛成する意見もありましたが、反対であるとの意見もございました。 公共施設は、市民に公共サービスを提供する施設ですが、それと同時に市民の負担によって提供されるものであることから、懇談会や市民ヒアリングを通じて、多くの市民の参画、ご意見等をいただき、整備の検討を進めてまいりました。 現在、これまでの経過等を踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。	A：基本計画（案）に反映します
--	-------------	---	---	-----------------

			このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	
(6)	その他	越谷だけではなく、東部地区の核となる施設にすべきという声は懇談会をはじめ、多くの市民からあがっているが、5市1町を中心とした近隣市町にはヒヤリングはしているのか？	基本計画（案）では、新たな越谷サンシティのコンセプトの1つとして「広い視野を持った『にぎわい』づくりと経済効果の実現」を掲げており、中核市として県南東部地域を牽引していく施設、また、県下有数の『にぎわい』の拠点施設となることを目指すこととしています。 一方、5市1町共同で建設する施設ではないため、ご意見にあるヒヤリングは実施していません。	C：その他

	(7) その他	マーケットサウンディングの事業者選定が不透明で選定の方法やヒヤリング方法が適正でない。市が方向性を示さない状況で包括的にヒヤリングを行っても、企業は自分たちの収益が最も確保できる方向性を回答するのは当然のこと。民間事業者の利益を生むことは目的ではなく手段であり、市が方向性を示したうえでその案に即した事業者を選定し交渉を行うべき。民間事業者に丸投げで市民が求める収益を生む施設を作るとは困難。民間事業者ありき、収益ありきではなく、市民が本当に求める施設を作るためのあらゆる形の運営方法、事業者選定を模索してほしい。	ご意見にあるとおり、PPP／PFIによる施設整備においては、具体的な施設の機能や施設配置、さらに事業手法の検討が一定程度進んだ上で、本格的なマーケットサウンディングを行うのが一般的です。 一方、本事業における基本計画（案）は、令和2年3月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想」をもとに、有識者や一般公募で構成する「越谷サンシティ整備懇談会」や市民ヒアリングを行い、様々な立場からのご意見をうかがったうえで、策定したものです。 さらに、本事業は、民間活力の活用を検討していることから、併せて、基本計画の策定前段階から民間事業者に対し、まず、「この地域において新たな越谷サンシティを通して、どのように『にぎわい』をつくっていくか」といった視点のもと、本地域の特徴や県内外の他地域との競合関係、さらにそこから見出される優位性についての意見を取り込む必要があると考えました。そのため、ご意見では「事業者選定が不透明」、「ヒヤリング方法が適正でない」とのことですが、まずは、施設整備や管理・運営、エリアマネジメントに専門性の高い大手デベロッパーや大手ゼネコンと言われる事業者と意見交換を行うため「クローズ型」のマーケットサウンディングを行ったところです。 また、「民間事業者に丸投げで市民が求める収益を生む施設を作るとは困難」「民間事業者ありき、収益ありきではなく、市民が本当に求める施設を作るためのあらゆる形の運営方法、事業者選定を模索してほしい」とのご意見ですが、本市も同様の	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）
--	---------	--	--	--

			認識であり、民間事業者に丸投げする考えは全くありません。 繰り返しになりますが、民間事業者のノウハウや創意工夫を最大限引き出し、また、市民参加の取組みなどの検討を進めていながら、官民連携・官民一体による整備を進めてまいります。	
(8)	その他	サンシティの建て替えのみで南越谷のにぎわいを創出することは困難。南越谷エリアの再開発を前提に一体として話を進めなければ意味がない。	令和2年3月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想」では、越谷サンシティや周辺地域の都市基盤を含めて、魅力あるまちづくりの整備の検討を進めることとしております。駅周辺の都市基盤整備としては、①越谷サンシティに至る歩道等、②バスターミナル等、③新越谷駅西口ロータリーの機能改善、④都市計画道路南越谷駅北口線を検討していくこととしており、これらにつきましても、新たな越谷サンシティの整備と並行して、検討を進めてまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

	(9) その他	市では結論が出ていて、懇談会は「ガス抜きの間」という声を聞いている。自治基本条例に違反するのではないか？アリバイ作りの懇談会やヒヤリングや意見公募ではなく、市民が主体となって決定できるプロセスを検討してほしい。	まず、今回の新たな越谷サンシティのように、公共施設は、住民福祉の推進や行政サービスの提供の拠点であることから、最終的には市の責任において整備、設置していくものと考えています。そして、そのプロセスにおいては、行政サービスは市民の負担により提供されるものであることから、市民の参画、ご意見等をいただき、最良の計画の策定に努めているところです。 基本計画（案）は、越谷サンシティ整備懇談会での議論（報告書）や市民ヒアリング、民間事業者へのマーケットサウンディングにおける意見を参考に作成したものです。 とりわけ懇談会は、延べ5回開催され、コロナ禍においても毎回、ほぼ欠席される委員はいらっしゃらない状況でした。これは、オンラインを活用した会議の開催、といった要因もあるかと思いますが、委員お一人お一人の熱意によるものと考えています。懇談会は本年2月には、その成果物として113ページにわたる報告書を提出いただきました。委員の皆さんには、貴重なお時間、ご意見をいただきましたことに大変感謝しています。 本市としては、懇談会の議事録など、市ホームページで随時公開し、広く市民の皆さんにお伝えできるよう努めてまいりました。今後も整備事業を進めていくなかで、市民の皆さんとの情報の共有に努め、さらには、市民、事業者、市にとって高い効果が得られるよう、市民参加の取り組みを検討・実施してまいります。 ご意見の「懇談会はガス抜きの場という声を聴いている」との「声」は、どのような立場の方が、ど	C：その他
--	---------	--	--	-------

			のような意図で述べられたのか測りかねますが、本市としては大変残念に思いますし、前述のとおり、活発にご議論いただいた懇談会の委員の皆さんが、このご意見をご覧になってどのように感じられるのか、また、「市民ヒアリング」も含め「アリバイ作り」とのご指摘についても、懇談会の委員の皆さん同様、市民ヒアリングに積極的にご協力いただいた方々がこのご意見をご覧になってどのように感じられるのか、危惧しています。 さらに、「自治基本条例に違反するのではないか？」とのご意見についても、本市としては大変残念に思いますが、そうした疑念を抱かせてしまったことは、真摯に受け止めなければならないと認識しています。	
--	--	--	---	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
4	(10)	施設整備・機能	1. 進め方については良いとおもいます。確かに現代は便利さ、効率的なこと、進歩がないといけない等19世紀からの従来の価値観ばかりが先行し、経済計算至上主義、物理的、科学的なことに偏重過ぎています。50年先の世界の価値観はどうなっているか、どうすべきを考えることは必要です。資本主義はどうなっているのか？民主主義はどうなっているのか？民族の多様性はどうなっているのか？等。 日本は国境が海、単体民族、同一言語など世界的に見ても、異常な国であるので、民族の多様性はあまり進んでいないかもしれない。長く住んでいたロスアンジェルスでは100カ国語が話され、100以上の民族がいるといわれていた。私の会社の部の同僚も11カ国の人達がいた。価値観がいろいろ考える役に立った。外国からきた人達への日本で暮らしていけるようにする、教室も必要であろう。アメリカではアダルトスクールと呼ばれていて、多くの難民と一緒に学んだ。 2. 南越谷を「行って見たい街、住んでみたい街」にしてゆきたいそれも1回行ったら、もういいやではなく、何回も行きたい場所にしたい。 広尾、かつての田園調布、吉祥寺などの様に特色のある街、印象づけられる街にしたい。日本の市街は住宅地区、商業地区、産業地区のように分けられた街区はなく、ただ、ダラダラと街ができてしまい、統一性が全く無いが、せめて越谷コミュニティ	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 その他いただいたご意見については、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしてまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

センターはそれを脱したい。教養の街、憩いの街としたい。

3. どこでもある商店街にするのではないという計画には賛成します。過去に海外の街（アメリカーLAX, NY、シカゴ、デトロイト、アトランタなど、ヨーロッパロンドン、デュッセルドルフ、パリ、ミラノ、バロセロナ、香港、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド等）に15年以上ダリ、長期旅行をしました。がショッピング街の出店は全世界共通の店（有名ブランドショップ、H&M, ユニクロ、無印、その他衣服店やケーキ店）でその土地の特徴がないのでショッピングする気も起きませんでした。

地元や、日本にしかない、特徴のある店を出店させたい。但し、上品な、センスの良いことが必要。商品展示も美しく。ヴァリエは改装当初は整然と商品が並んでいたが、今や雑然とならんでいるだけ。それに比較すると二子玉川の店はキチッとして高級感がある。南越谷は水の街、イチゴ、宿場などとは縁がないので、そのようなものにこだわる必要は全く無い。

4. 南越谷にあるのは、関東平野の真ん中にあるということで、山がなく、高層建築がないので周囲の景色がよいということだと思います。東に筑波山、南に東京、東京湾、西に富士山、丹沢、北に日光連山、赤城山などを楽しめます。

従い、50メートルから100メートルの高層ビルを建て、最上階に展望施設、その下の階にレストランにし、このような設備は近隣にはないことから、駅にも近いことから外部からのお客を呼ぶ

		ことが出来る。高齢者でも行くことが出来る、リピーターが大切、雄大な景色、近郊の花火を楽しめる。 また文化の街的要素は絶対必要であり（昔、四国に3年間住んでいたことがあったが、文化的要素が殆どなく、それまですんでいた東京との差を感じました）、大ホール、中ホール、小ホールを作り、歌謡ショウ、クラシックコンサート、ミュージカル公演、地場の人達の発表会、学園祭、入学式、入社式、卒業式、講演会、打ち合わせ会議室などを催す。図書館、越谷市の出張所、保健所、スーパー、レストランも必要。 この近辺には日用品をあつかう店がほとんどない。イオンは閉鎖している間はレイクタウンに行くしかないと思っています。 地下には駐車場（ホール用、商店街用、マンション用）、災害用備蓄倉庫、1階にはスーパー、2、3、4階には出張所、図書館、保健所、緊急避難所、貯蓄倉庫、映画館、クリニック、娯楽設備（VR など最新 IT 技術を利用） それ以上に階は民間の分譲マンションにし、建物の構築には民間と共同でおこなう。 高齢者、ハンディキャップをもった人への対応も必要。（トイレ、階段、エントランス、授乳室、休憩の為の椅子の設置、眼が見えない、耳が聞こえない、歩けない、口がきけないひとへの対応など）またエントランスには最近の高層ビルによくある、緑のスペースを多く作り、自然のくつろぎ感を醸し出す。		
--	--	---	--	--

NO	該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
5	(11) 施設整備・機能	整備基本計画案を見せて戴きました。まずは「市民ホール建設」に賛同するものです。その上で幾つかの意見を下記し、提案させて戴きます。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）
	(12) その他	「越谷サンシティ」という名前をこの際新しくしては如何かでしょうか。サンシティという英語の言葉から、日本語の暖かい・懐かしい言葉を使って欲しいと考えます。	現在の施設全体の愛称である「サンシティ」は、公募により名づけられたものです。オープン以来多くの方々に浸透、定着し、親しまれてきたものと認識はしていますが、現時点で、市として明確な意思決定はしておりません。 今後、いただいた意見を参考に検討してまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

(13)	施設整備・機能	この地域にやって来るであろう人達の多くは「鉄道」利用が多いと考えるので、駅から施設の間をつなぐ回廊建設を加えた計画にして戴きたい。同時に幼い子供達を保育する機能も必要です。また、公園機能には緑の植樹とベンチを備えれば、後は市民自身が使用方法を工夫するでしょう。	令和2年3月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想」では、周辺の都市基盤の整備についても検討することとしています。今後、越谷サンシティの整備にあわせ、駅からのアクセスの改善について検討してまいります。 また、「幼い子供達を保育する機能」については、「民間施設の方向性」の一つに、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、子育て関連施設も例示しておりますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にまいります。 さらに「公園機能」については、公共施設（機能）の一つとして、市民が憩える場となり、市民団体や民間事業者が行うイベントが開催できる広場の整備を掲げておりますので、十分に参考にまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）
(14)	施設整備・機能	イベントホールで行われる諸事業のチケットの申し込み・発券・販売システムなどのソフト面に公・民の垣根を払った共通性（二重投資にならぬ様）を持たせて欲しい。 イベントホールの機能には災害発生時の、防災・避難拠点になり得るものを整備して戴きたい。	諸事業のチケット申込み等に関するシステムにつきましては、今後、いただいた意見を参考に検討して参ります。 また、「4 施設整備・機能の検討」では、新たな越谷サンシティは、災害時の防災拠点としても最大限活用することとし、市民が安心して利用できる施設となるよう整備を行うこととしております。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

(15)	施設整備・機能	現コロナウイルス感染状況下ではリモートワークが推進されているが、その意味でサテライトオフィスは有効な機能です。地域内の無料 WIFI 設備は不可欠であり、図書室（文献・アーカイブス資料閲覧など）や出張所のデジタル機能対応を補完するものでもあります。	ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大により、テレワークの実践やオンライン会議の実施などテクノロジーを活用した「新しい生活様式」が急速に進んでいると認識しています。 このため、基本計画（案）では、時代の変化を捉え、最新テクノロジーの導入・活用を通じた新たな越谷サンシティの整備を目指すこととし、サテライトオフィスについても、「民間施設の方向性」の一つに、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として掲げておりますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしてまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）
(16)	その他（賛成）	市の人口や企業の「住民税」が投資に使える今、積極的に財政出動を行うべきであり、この先長期間にわたって市民の為になる機能を再構築する本計画に賛同します。	本市においては、今後、人口減少や市税の減収が見込まれる一方、少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策等経費の増加が見込まれており、厳しい財政状況が見込まれます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による景気低迷に伴い、感染症対策に関する経費の増加が予想されます。 こうした状況の中、越谷サンシティの今後のあり方には、「時間をかけて検討すべき」「段階的に作っていく考え方もある」といったご意見もいただいておりますが、現在は、市が施設の管理・運営を行っており、費用負担が恒常的に生じていることを鑑みても、この状況を長期にわたって続けるには一定の限界があると考えています。 このため、当初のスケジュールのとおり整備していくこととしておりますが、本事業による新たな『にぎわい』の創出および地域経済の活性化がもたらす効果は、この地域のみならず、市域全体の価値	C：その他

				の創出に大きく貢献するものと考えています。 引き続き、マーケットサウンディングや市民参加の取組みを通して諸課題を丁寧に整理し、基本計画（案）に掲げたコンセプトを実現するべく検討を進めてまいります。	
--	--	--	--	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
6	(17)	施設整備・機能	越谷市に 40 年余り在住の者です。 今回の案の中で、JR・東武各駅からのアクセスが非常に悪いと思っております。というのも、一方通行とはいえ東武の高架下は車が通り、家族や友達と横に並んでサンシティに向かう事は出来ないと思います。 周りに気を使って会場に向かうのはワクワク感を損ねてしまうと考えます。そういった会場に向かうまでの店巡りであったり、公演が終わり帰りの駅まで向かう迄の道のりをできるだけ気兼ねなく通って欲しい、例えて言うなら JR 舞浜駅から TDR 迄の道のりのイメージが、南越谷からサンシティ迄に出来たらと思います。 当然、難しいのは承知の上ですがせっかく新たな施設を作るのであれば、アクセスの安全を実現してほしいと思います。 一つ提案ができるとすれば、東武線の高架下からイオンの東武側出入口口迄空間があるので、新越谷ヴァリエ 2F にある無印良品のルートから直接イオンに抜けるルートが出来ないかと考えます。法律や地権者や既存店舗等のハードルは当然高いですが、実現されれば「雨に濡れることなく傘をささないでサンシティに行くことができる」と言うのはアドバンテージになるのではと思いました。 一市民の勝手な意見で不快に思われたら申し訳ございません。 今後の越谷市の発展を少しでも見届けられたら幸いです。よろしくお願い致します。	令和 2 年 3 月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想」では、周辺の都市基盤の整備についても検討することとしています。今後、越谷サンシティの整備にあわせ、駅からのアクセスの改善について検討してまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

NO	該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
7	(18) コンセプト	現在の住所に引っ越してから 10 年以上経ちます。いち住民としての意見となります。センシユアシティという名称は意味がさっぱり分からないです。住民としてこのコピーを紹介するのにどう説明すればいいのかわかりません。センシユアシティをどうしても残すのであれば官能都市ではないもう 1 つ分かりやすい日本語名やキャッチフレーズが欲しいです。	昨今、各地の様々な都市で行われてきた開発によって、利便性や効率性が優先され、都市の均質化が進むとともに、都市の個性が失われ、魅力が低下するという指摘があります。 そのようななか、「センシユアス・シティ」とは、単純な拡大志向とは異なり、そのまちの生活者等の目線で、各々の「人」の行動や感覚に基づく満足度・幸福感などによってまちの魅力を測ろうとする、新たに提唱されているコンセプトです。 南越谷駅周辺地域では、渾然とした飲食店の機能を保持することが「センシユアス・シティ」につながり、「南越谷ならでは」の魅力に繋がると考えています。 なお、提唱されている「センシユアス・シティ」は「官能都市」と表現されていますが、本市では「センシユアス・シティ」を「人が肌で感じられるまち」「五感で感じられるまち」としております。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）
	(19) 施設整備・機能	新越谷駅や南越谷駅からサンシティに続く通路を作る意見も見られますが住民としては反対です。南越谷商店会エリアに数多くの店舗があり商店街の活性化につながりません。また区画整理や通路の設置費用にお金がかかり無駄だと思います。	令和 2 年 3 月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想」では、周辺の都市基盤の整備についても検討することとしています。今後、越谷サンシティの整備にあわせ、駅からのアクセスの改善について検討してまいります。 なお、検討にあたっては、ご意見にあるとおり、施設周辺には多くの店舗もあるため、十分に配慮してまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

	(20) 施設整備・機能	サンシティの周辺は南越谷阿波踊りや演歌歌手のキャンペーン、かつてはヒップホップグループの練習拠点、アーケードゲームの聖地にもなっており、独特の文化を持つ地域でもあります。文化とプロスポーツの発信地としてアピールした方がいいと思います。住民として欲しい施設は、市役所出張所、宝くじ売り場、図書館、郵便局、銀行、プロバスケットの試合とコンサートと展覧会が同時開催できるアリーナ、小ホール、研修室、食料品スーパー、飲食店、インキュベーター施設、ステージ利用もできる公園です。現在のサンシティ広場は23時から翌朝7時まで立入禁止となっていますがこれも時間短縮して欲しいです。早朝公園に行く際は400～500m離れた公園まで行くのでとても不便です。いつも身近なサンシティと南越谷商店会エリアがこれからもみなさんに愛されるエリアになるように希望します。	いただいたご意見にもありますとおり、人々が暮らし、集うまちには核となる文化が必要であると認識しております。越谷サンシティを核とする南越谷駅・新越谷駅周辺地域に、これまでの歴史や時代の変化などを踏まえ、どのような文化が必要なのか、越谷らしい文化とは何かを考えたいうえで、市民のシビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成を目指します。 基本計画（案）では、公共施設（機能）としてイベントホール、図書室、出張所、広場を整備していく方針を示しております。公共施設（機能）以外の機能に関するご意見については、参考とさせていただき、今後も公共施設（機能）との相乗効果や、この地域ならではの『にぎわい』づくりへの貢献といった観点を持ちながら、マーケットサウンディングを実施し、民間事業者のノウハウ・創意工夫を最大限引き出すよう努めてまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「（2）民間施設の方向性」において加筆します。 また、現在の越谷サンシティ広場の開放時間についてのご意見をいただきましたが、防犯上の理由から23時30分から翌6時50分まで立入を制限させていただいておりますので、ご理解賜りたいと思います。	A：基本計画（案）に反映します
--	--------------	---	---	-----------------

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
8	(21)	コンセプト	越谷市は埼玉県東南部エリアの中核都市としての機能を十分に発揮する責任と義務があると感じております。コアとして地域衛星都市に影響を与えるアイテムが整っていると確信し、その立地条件、産業、経済、施設、人口等々数ある中でこのプロジェクトはその母体をより推進し、多くの人々に、又、将来において、数々の功績を残してくれると思います。「人々が集い、語らい、行動する」拠点として、絆をより強く結びつけるものとなることは、他に今現在、地域を見ても類はないものと感じております。「そこに、山があるから登山をする」大変な道のりかもしれませんが、必ずたどり着くことになると思います。	新たな施設の整備に当たっては、「越谷市の顔」とも言うべき南越谷の土地・空間のもつポテンシャル（潜在能力・潜在価値）を最大限に引き出し、中核市として県南東部地域を牽引していく施設、県下有数の『にぎわい』の拠点施設となることを目指しております。 また、立地条件などを踏まえた事業の採算性も重視しつつ、まちづくりの主役である市民の自発的かつ主体的な活動を促進し、我が事のようにまちづくりに関わる「まちの担い手」の育成も重要であると認識していることから、いただいたご意見も参考に、引き続き、基本計画（案）で掲げたコンセプトを体现した施設の整備に取り組んでまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
9	(22)	その他	サンシティエリアが整備されることは喜ばしいことと思っておりますが、工事の間、図書室や出張所の機能は仮施設等で維持されるのでしょうか？特に、子育て中の我が家では、図書室はとても大切な場所であり、これからも子どもたちにたくさんの本に触れてほしいと思っております。数年の間とはいえ、子どもたちの貴重な学びの機会を奪われることは避けたい事態です。中央図書館は立地として不便であり、車のない我が家では利用は困難です。工事の間、南越谷エリアで図書室が利用できるよう、検討していただきたいと思っております。 近隣住民としては、将来的なことだけでなく、工事を含めたここからの数年間、極力力不自由が生じることがないよう、公共施設の機能の維持について、見通しを示していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。	新たな越谷サンシティの整備に係るスケジュールでは、令和6年度（2024年度）から令和9年度（2027年度）までの間に、既存施設の解体及び新施設の建設を実施する予定です。 現在の南部図書室および南部出張所については、利便性が高いことから多くの市民の皆さんのご利用をいただいております。上記の予定整備期間中の切れ目のないサービスの提供や利便性の確保について、検討を進めてまいります。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
10	(23)	施設整備・機能	越谷サンシティの整備について将来30～40年先を考えて、劇場（大ホール2,000名以上）中心に小ホール、図書室、出張所等、文化施設、アリーナ式（大ホール1万名以上）スポーツ施設、間に大きな広場公園を設置し周りには木陰を作り、小さな親子さんの集える場所、或はフリーマーケット、大道芸等が出来る。公共交通もJR武蔵野線、東武スカイツリー線と交通の利便性も非常に高いが、施設に入る動線も整備が必要です。これだけの施設でありますので車利用者も多く駐車場も必要不可欠です。劇場を中心とした文化施設、アリーナ式のスポーツ施設、互に相乗効果を生み、公園を中心とした大きな広場もあいまって人の創出が最大限計られる。 周りには有名なレストラン、喫茶店、ホテル等を配し南越谷に行けば何んでも美味物が食べられるレストラン街にし、レイクタウンと差別化することが重要である。アリーナ式スポーツホールはプロバスケット、アルファーズだけでなく全日本バレーボール大会、全日本卓球大会等、国際試合も出来る必要があります。 埼玉県東南部、中核都市越谷の顔として整備することが、私の夢です。	新たな施設の整備に当たっては、「越谷市の顔」とも言うべき南越谷の土地・空間のもつポテンシャル（潜在能力・潜在価値）を最大限に引き出し、中核市として県南東部地域を牽引していく施設、県下有数の『にぎわい』の拠点施設となることを目指しております。 ご意見は、基本計画（案）に掲げた機能を組み合わせ、さらに具体的に述べられたものと認識しており、十分に参考にさせていただきます。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「（2）民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
11	(24)	施設整備・機能	越谷スマートハブシティ化計画 ★日本最大級のバスターミナル ★五つ星以上のシティホテル ★多目的ホール(アルファーズホームスタジアム) 大都市を目指すならば絶対必要。 なぜバスターミナルなのか？越谷市の立地に注目して欲しい。羽田、成田、そして茨城と近くに3つの空港からアクセスしやすい街はなかなかないのではないのでしょうか。今でも羽田、成田線はありますが、ここに茨城も加えてみたらどうか。それぞれ1.5～2.0時間で到着できる。そして新幹線へのアクセスを考え大宮、東京駅に向かう高速バス。主要空港、駅直通に加え浅草、上野、日光、ディズニーランドも直通で行けますとアピール。また、新越谷―レイクタウン―ららぽーと三郷―レイクタウン―新越谷―浦和美園イオン―埼スタ―浦和美園イオン―新越谷のシャトルバスを運行したらどうでしょうか。 次にホテルは最低5つ星以上を誘致してもらいたい。マリオット、ヒルトンクラス。埼玉県には日本を代表するようなスタジアムやホール、病院、大学、モールがあるけどVIPを泊められるようなホテルは無いので潜在的に求められている。大きな会議やイベントがあってもそこに呼ぶ人を滞在させる場所が無いので妥協して浦和や大宮にある老舗のホテルに泊まってもらっているけれど接待側は納得していないはず。越谷近辺には大学が3つもあり、レイクタウン、獨協大学病院、そして大きな物流センターがあったりとVIPはいくらでも来る。また埼スタがすぐ近く	令和2年3月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想」では、周辺の都市基盤の整備についても検討することとしています。今後、越谷サンシティの整備にあわせ、ターミナル機能の改善について検討してまいります。 また、「ホテル」について、「民間施設の方向性」の一つに、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「宿泊施設・ホテル」も例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 さらに、現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 その他の公共施設（機能）以外の機能に関するご意見については、参考とさせていただき、今後も公共施	A：基本計画（案）に反映します

にあるのでサッカー日本代表宿舎としての利用も提案したい。もちろんホテルなので大きな会議や、イベント、展示会、パーティー、結婚式にも使える。当然、接待に利用できる高級レストランもテナントで入るでしょう。間違ってもビジネスホテルクラスのリーズナブルホテルにしないようにして欲しい。最低でも1泊5万以上のホテルじゃないと意味がない。ここは絶対間違っただけいけない。市民が利用するのではなく招待したVIPに利用してもらうということです。

3つ目多目的ホール。まず越谷唯一のプロスポーツチーム 越谷アルファーズのホームスタジアムにしたらどうか。あと現在注目されているeスポーツスタジアム利用もちろんコンサート、イベント、展示会などもできるように。

上の3つが軸になりますが、例えば、地階にバスターミナ、1～3階に多目的ホール、イオン、4階以上ホテルのような設計はどうでしょう。もちろん見た目外観も大事なので何かテーマを持ったインパクトのあるものを期待します。プロジェクションマッピングやイルミネーションも考えた外観作りは重要です。屋上や建物の敷地内を利用した緑溢れるウォーキングコース、バーベキューエリアなどができると市民にとってもいいですね。また、毎年行われている阿波踊りや花火大会などとのコラボレーションも視野にいれるべきですね。そして重要なのは災害マネジメント機能を持ち合わせていること。

埼玉県は現在コロナの影響で観光資源としても住居としても見直されています。所沢サクラタウン、川越小江戸、ムーミンバレーパーク、入間ジョンソント

設（機能）との相乗効果や、この地域ならではの『にぎわい』づくりへの貢献とった観点を持ちながら、マーケットサウンディングを実施し、民間事業者のノウハウ・創意工夫を最大限引き出すよう努めてまいります。

なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。

		ウンなど注目される街が頑張っている中、越谷もなんとか個性的な街へ変貌する時期にきているのでしょうか。どこかの街のパクリではなく、こじんまりとしたアイデアではなくスケール感大きく斬新な新しい越谷のシンボルサンシティに変わるように願います。以上。参考になればと思います。よろしくお願いします。	
--	--	---	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
12	(25)	施設整備・機能	さいたまスーパーアリーナのような、観劇、スポーツ等に使えるアリーナ施設を希望しています。 昨今のさいたま新都心駅周りのめざましい発展はスーパーアリーナによるものも少なからずあるものと思っています。駅近く、商業施設が多く立ち並ぶ南越谷、新越谷でこそアリーナ施設が輝くのではないのでしょうか。 また、越谷アルファーズ1部リーグを見据えて、アリーナ施設の必要性は高いと思います。浦和レッズの活躍で浦和という単語が世界に広まってるとも聞きます、ぜひ越谷にもっと人を集めるためにも検討をお願いします。 越谷にはまだまだ力があると信じています。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
13	(26)	施設整備・機能	この基本計画からは、同じような施設の建て替えリニューアルもしくは少し規模を大きくした程度のものを検討していることがうかがえます。現在の施設利用者にヒアリングした結果を根拠にしているので、そのような結果は当たり前であり、検討の根拠にはなりません。その程度の建て替えリニューアル程度に多くのお金を使うことに疑問を感じます。近隣の市民団体、小学生や中学生の発表の場というのも大事だと思いますが、それが南越谷の好立地にある必要があるのでしょうか。 都心から近く、東武線、武蔵野線が使えて、駅からも近いという強い立地となっています。さいたまスーパーアリーナのように、市外から多くの人を呼ぶことのできるような施設をぜひご検討お願いします。時代に合わせた最先端の仕組み、設備も必要だと思います。利用には、市民団体優先枠なども作り、市民団体、小学生や中学生なども優先してリーズナブルな料金で利用できるような仕組みも合わせて導入すべきだと思います。 南越谷再開発が成功するか、しないか。越谷市の発展の鍵であると思います。よろしく願いいたします。	基本計画（案）は、越谷サンシティ整備懇談会でのご議論（報告書）や市民ヒアリング、民間事業者へのマーケットサウンディングの実施により、「現在の施設利用者」に限らず、様々な立場の方からの意見を参考に作成したものです。 そのなかで、現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「（2）民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
14	(27)	その他	以下は感想文じゃないですよ、パブコメです（笑） すみません、乗っけから汚い言葉で、、 「ふざけんじゃねえぞ、徳沢、ばかやろう」 ―― 計画案、読んだ一番最初の感情でした。 徳澤さん、政策課の皆さん、そう思ったのは一瞬ですよ一瞬。すみません。鼻からの批判で。今はそうじゃないですよ、すでに未来的なよき感情です！ サンシティ整備基本計画（案）最初に読んでからさらに数日経ちました、でも冷静に何回か読み返しても、いまだそう感じているので一過性の感情の爆発ではなく、心からそう思っているのかもしれませんが（笑）。すみません。どっちなんだ。でもなんでそう思うのか？考えてみました。 やっぱり何もない状態なんてなかったんだ。やっぱり僕たちはみんな騙されていたんだ。そしてどこに騙しの張本人がいるかが分からないので、矢面にたつ、政策課の部長をなじってしまうのです。 みんな、スケジュールもやることもきっと全部決まっていて、黒幕がいるんだよと疑心暗鬼でいたのです。市職員を信用するなよといわれ、でもそうじゃない、騙されるかどうかなんてわからないんだからまずは言っていることは全て信用しようよと僕は思っていました。そして徳沢さんらと話すことで人として信じることができ、安心しきつと目指す方向も持っているんだなと感じ、だから朝比奈さんのことも信じてゼロから考えれるのなら、何か意見を提	基本計画（案）は、越谷サンシティ整備懇談会での議論（報告書）や市民ヒアリング、民間事業者へのマーケットサウンディングにおける意見を参考に作成したものです。 とりわけ懇談会は、延べ5回開催され、コロナ禍においても毎回、ほぼ欠席される委員はいらっしゃらない状況でした。これは、オンラインを活用した会議の開催、といった要因もあるかと思いますが、委員お一人お一人の熱意によるものと考えています。懇談会は本年2月には、その成果物として113ページにわたる報告書を提出いただきました。委員の皆さんには、貴重なお時間、ご意見等をいただきましたことに大変感謝しています。 ご意見の前段から中段で「仮案でゼロベースであるということをはっきりと市からも言われていた。でも今回の計画案の最後には最初から決まっていたとしか思えないものが書いてある。」「想像性の低い多くの人たちからの既に見える絵を迎合している」とされておりますが、前述のとおり基本計画（案）は、懇談会での議論や市民ヒアリングなどの意見を参考に作成したものです。また、「想像性の低い多くの人たち」というのは、どのような主旨でこうした表現をされたのか図り兼ねますが、市としては、サンシティの将来を真剣に考え、これまで様々なご提案、ご提言をいただいた方々がこのご意見をご覧になってどのように感じられるのか、危惧しています。	C：その他

案したいと思い多くのことを調べ、未来を考え、色々な人と会話して意見交換し、実現するかどうかではなく、まずは自分の街の未来を考え提案したいと思いやってきました。会議態から全くそうはなりませんでしたが、第5次総振もそういう強い思いで応募しました。騙される前から信用せずに不審に思うことは自分ではできませんが、騙されたのかなということになれば感情が出ます。

市も一生懸命、勉強し24時間考え、様々なことに応対しながら行っていることは知っています。なので過大な期待はしてはいけないと思うし、一生懸命に対しては感謝しなくてはいけません。また事実一人一人の人としては皆常識的で立派に思いました。市という組織になるとうまくいかないのもわかります。だから色々模索してやってくださっているんだろうなということも思っており、モヤモヤが多い現場で仕事をしている皆さんを尊敬します。

リーダーって、人がまだ見ぬ風景を示してくれてる人だと思うのです。ワクワクさせてくれて、そうだね、最高だね、いいねって感じさせてくれる人だと思っています。それには、今に対して問いを持ち、未来に対して問いを持ち、過去に対しても改めて問いを持ち、色々なネガティブもポジティブも含めて考え、想像とともに未来的にカラーのイメージを持たせてくれる人だと思うのです。せめてそう示すことが出来なくてもそういう思いでいてくれる人だと思うのです。小さい事業ならまだしも、この南越谷の件で多くの人が言っていたようにとっても大きな街の将来を決めていく重要な事業だと思うんです。

さらに、「一文一文短いセンテンスで読むと事実が書いてあり、これまでの議論の中で出てきた内容と相違ないということになる。しかしそのセンテンスをつなげて全体の幹で見ると大きくみんなが話してきた内容と違うものに変化している。そこに都合の良い部分の意見を編集し記載されており、各々の枝葉で話した内容を利用されている。」とのご意見のうち「違うものに変化している」のが、具体的にどのようなことを指し示していらっしゃるのか不明ですが、本市としては、全体最適の考えのもと、様々なご意見やご提言を極力基本計画（案）に落とし込むべく、鋭意努めてきたところであり、大変残念に思いますが、そうした疑念を抱かせてしまったことは、真摯に受け止めなければならないと認識しています。

なお、「市長が会議に出てこない」、とのご意見がありましたが、そもそも首長が、行政が行う全ての会議に出席することは不可能です。そのため首長の補助機関たる自治体職員がその役割を担うのであって、こうした場合には会議の内容などを職員が首長に逐一報告し、そのうえで首長がその都度判断をし、必要な指示をする、というのが行政組織のあり方であり、本市においても同様です。

さらに「リーダーの役目となる未来像も示さない」とのご意見がありましたが、本件越谷サンシティ整備に関しては、「人を育て、人から愛される施設」、「広い視野を持った『にぎわい』づくりと経済効果の実現」などを創り出すことを未来像として示しており、その実現に向け、本年4月より、新たな組織として「南越谷にぎわい推進室」を立ち上げ、

だからこそ、リーダーが指し示す必要がある。でもリーダーである市長はまったくその役目を担えない人です。事実会議には出てこないし、リーダーの役目となる未来像も示さないし、直近の件、市役所においても、保健センターにしても、今回のサンシティ、このあとの大沢の体育館跡地、目立つところでは何もリーダーとしての役目を果たしてきていません。その事実があるからこそ気づいている市民は自分でやらねばと思っているのです。市役所に主体的に創造的に何かやって欲しいとは思っていません。市役所の力が必要なので力を合わせてやっていきましょうと思っているのです。市役所がリーダーではなく市役所は事務局です。リーダーが市長が果たさないのであれば次のリーダーは市役所ではなく市民です。

だから徳澤部長を信じて、リーダーがいない越谷市に意見としてリーダーと同じ役目を市民として皆、しようと行動していたのです。この先の街の未来にとってを自分で聞いてみると、それには不安と不満の残る南越谷の事業案が市役所から提示されていました。でもかつそれは仮案でゼロベースであるということをはっきりと市からも言われていました。みなさん政策課からです。青山社中も、にぎわい懇の参加メンバーも、です。今回の整備懇の中でもそういうニュアンスでした。

でも今回の計画案の最後には最初から決まっていたとしか思えないものが書いてあります。最初から決まっているのなら、そう言ってもらった方が、自分たちの街の将来に対しては諦めがつきます。変えないのに変えられるようなニュアンスで対応したとい

この事業の重要性を明確にし、積極的に推進していくことを示しています。

うことで信じた人たちの善意で出し合った本当に多くの時間を奪ったのです。そこに一番の怒りを感じました。

それでもみなさんにとっても自分ごとであるように、僕にとっても僕たちにとっても自分ごとなのです。なんとしても、皆さん市職員の方と先を見る市民といっしょに作れたらと思っています。しかし皆何度も腰を折られる経験をしていくとさすがに信用できなくなってしまう。でもそれでも自分の街なので自暴自棄にはしたくないのです。諦める人もいるかもしれませんが未来に対して僕は諦めたくないのです。

このパブリックコメントも形だけで変化しないことも過去の例からわかっています。この3月末に（案）という字が取れてリリースするのみです。でも何かちょっとでも皆さんの心に留まれば、ちょっとのころの変化でもあれば次につながると思い書かせてもらいました。

内容についての意見は、一文一文短いセンテンスで読むと事実が書いてあり、これまでの議論の中で出てきた内容と相違ないということになります。

しかしそのセンテンスをつなげて全体の幹で見ると大きくみんなが話してきた内容と違うものに変化しています。そこに都合の良い部分の意見を編集し記載されており、各々の枝葉で話した内容を利用されている気がします。そういう意味合いで話したのではないという怒りが皆から出ていましたことはお伝えしておきます。

市民の声を聞くことはとてもいいことですが、その声を聞き、まだ見ぬ善き未来を示さなくてははいけ

ない事案なのに、想像性の低い多くの人たちからの既に見える絵を迎合し示している市に、未来の無さを感じざるを得ません。一緒にやっていきたいがそうならないとなると、反対のためにエネルギーがいることをしなくてはいけなく誰も得をしません。

ぜひとも迎合ではなく、ごり押しできるより良き案を作成していきませんか。お願いいたします。

サイモンシネックの WHY から始めようって読んだことありますか？シネックの言う why ではなく what ばかりをいう市民の意見をまとめることは不可能です。不可能なのにやろうとしているから難しくなっていると思います。市民から why をききだし、自分たちも考えましょう。街の未来にはこうありたいという思想という why が先に立たなければと思います。でも WHY がなく HOW や WHAT ばかりが書いてある。SDGS, Maas, Iot, AI などなど今後利用するのは当たり前前のものが計画書案にも書いてありますが、日本中世界中が当たり前のそれらのツールを使ってどこかへ向かうのです。それを使ってどういう方向のある街へ向かうのかが求められているのでその思想が見えないことが街の迷走につながります。WHY から始めましょう。自分が思う街の先の思想からすると今回の計画案とはちがう WHAT が出るかと思いました。是非ともこれからのお願いとして、みなさんがいつも誰と付き合っているかだと思います。雑談から生まれる良き案、市役所の方はすぐにオフィシャルにしますが非公式な雑談をいかに多くやっていて緩い関係のつながりが多くつくっていただけるかどうかが良い案の制作へつながるかだと思います。今後の市役所の皆さんへのお願いです。

		諦めなくて良い、未来的な創造の可能性を是非とも僕たち市民に与えてください。お願いいたします。いつも批判ばかりをお聞きいただきありがとうございます。皆さんにとっても自己愛のある地域と信じています。皆さんにも幸あれといつも願っております。	
--	--	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
15	(28)	施設整備・機能	越谷市外の方が、越谷市は何が有名なの？と良く聞かれるのですが、いつも返答に困っています。 あの立地を生かして、多目的に利用できるアリーナ施設を建築して、誰もが知っているスポーツ等のイベントなどが開催できる建物が良いと思います。レイクタウンの様なお店は必要ないと思います。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
16	(29)	施設整備・機能	皆が集まる事が出来るような、埼玉スーパーアリーナのような施設が出来れば良いと思います。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
17	(30)	施設整備・機能	越谷サンシティ整備基本計画（案）を拝見させていただきました。音楽ホールを造ることにつきましては、反対するつもりはありません。現在の役割を継承することは、大事なことだと思います。 ただ、「整備基本計画（案）」を拝見する限りですが、失礼ながら、現状のものとほぼ同じものができあがるのだと感じました。そうであれば、大金を使って解体し、大金を使って同じものを造り直すというのは、壮大なる無駄のように感じます。現在の建物をそのまま使えば、お金を使わずにすみます。越谷の財政に途轍もなく余裕があり、今後も同様の余裕が続くのであれば別ですが。 また、マンションを建てるというように書かれていたと思いますが、市民の共有財産をごく一部の方の利益のために使うというのは、いかがなものでしょうか。マンションを建てるのが「南越谷駅・新越谷駅周辺地域の『にぎわい』づくり」につながるのでしょうか。私にはそうは思えません。もしそうなら、あちこちマンションを建てていけば、街がにぎわうということになるでしょう。ありえませんよね。「レイクタウンとは異なる南越谷ならではの“センシュアス・シティ”を実現する」という点からも疑問です。 せっかくお金をかけて造るのであれば、他の自治体の人も集まってくるような、越谷の新名所となるような施設にすることを希望いたします。結論を急がず、しっかりと議論したうえで進めていかれることを希望いたします。	本市においては、今後、人口減少や市税の減収が見込まれる一方、少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策等経費の増加が見込まれており、厳しい財政状況が見込まれます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による景気低迷に伴い、感染症対策に関する経費の増加が予想されます。 こうした状況の中、越谷サンシティの今後のあり方には、「時間をかけて検討すべき」「段階的に作っていく考え方もある」といったご意見もいただいておりますが、現在は、市が施設の管理・運営を行っており、費用負担が恒常的に生じていることを鑑みても、この状況を長期にわたって続けるには一定の限界があると考えています。 また、現在の越谷サンシティが建築から40年以上が経過し、施設の長寿命化を踏まえると、相当大がかりな、大規模な改修が必要になります。 このため、当初のスケジュールのとおり整備していくこととしておりますが、本事業による新たな『にぎわい』の創出および地域経済の活性化がもたらす効果は、この地域のみならず、市域全体の価値の創出に大きく貢献するものと考えています。 なお、「マンション」については、事業者へのマーケットサウンディングにおいて、事業者から「早期の収益性の確保」という事業参入を検討する要素の一つとしてあげられた意見であり、市として整備に積極的な意向を示すものではありません。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

			最後になりましたが、ここまでご尽力いただいている関係者の皆様に敬意を表します。なにとぞご検討のほど、よろしくお願いいたします。		
--	--	--	--	--	--

NO	該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
18	(31) 施設整備・機能	施設が将来に渡って持続していくには収益性が必要なので、「にぎわい」を生み出すと同時に、それが収益に繋がらなければなりません。しかし、基本計画は「にぎわい」と「収益」の核が明確になっていません。具体的な「にぎわい」創出と「収益」確保の方向性を定めないと、ダイエーが撤退、イオンも撤退しようとして賃料を下げ、運営費等を税金で負担しているような現状が、100 億円以上かけた再整備後も続くこととなります。現在の市民ホールの稼働率 80%という数字が、商業棟の収益に寄与していないことから、「稼働率」=「収益性」ではないことを強調致します。一方で、民間の事業者は市民ホールの稼働率を当てにするのではなく、それ単体で「にぎわい」と「収益」を生み出す事業計画が必要です。その上で、公共機能と商業機能が互いに連携し、相乗効果を生み出す姿を求めるべきだと思います。 第 4 回の懇談会では、越谷市の財政が厳しい状況だという説明がありました。建て替えを明確にした以上、収益性を追求することは絶対条件です。収益性と経済効果を上げるべきという主張を繰り返しますが、スポーツもできる 1 万人規模の多目的な大ホールであれば、その課題に対応できます。スポーツも文化も、商業も、学問も、一流の催しを呼び込むことができます。プロの興行で収益性を維持しつつ、多様な市民活動と結び付けば、地域に根差した新しい価値を創造できる場となります。一流のコンテンツと新しい価値には人が集まり、「にぎわい」が生まれて収	「施設が将来に渡って持続していくには収益性が必要なので、「にぎわい」を生み出すと同時に、それが収益に繋がらなければなりません。」また、「民間の事業者は市民ホールの稼働率を当てにするのではなく、それ単体で「にぎわい」と「収益」を生み出す事業計画が必要です。その上で、公共機能と商業機能が互いに連携し、相乗効果を生み出す姿を求めるべき」とのご意見については、市も同様の認識です。そのため、基本計画（案）では、新たな越谷サンシティのコンセプトの 1 つとして「広い視野を持った『にぎわい』づくりと経済効果の実現」を掲げており、投資に見合った経済効果を追求し、採算性のバランスを確保することを掲げています。 また、現在の越谷サンシティが、オープンから 40 年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約 80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可	A：基本計画（案）に反映します

		益に結びつき、回遊が発生して越谷市全体の経済に良い影響を与えたいと思います。 「スポーツもできる多目的大ホール」案を基準とした上で、次のステップとしてオープンなサウンディングを実施して頂きたいと思います。市のホームページにも公開し、プレスリリースも行うようなスタイルです。スポーツ×ビジネスという考え方が一般的な海外へも、情報発信や募集ができると良いと思います。例えば課題の一つとして音響がありますが、より良い音響設計ができる事業者が、国内外から見つかるかもしれません。 また、今後のプロセスも気になります。懇談会で仰っていたように、引き続き市民が関われることを望みます。懇談会という形式はもちろん、YouTube等で会議を配信し、コメント機能をオンにして意見を求めれば、若い世代の市民の皆さんも関心を持つのではないのでしょうか。「スポーツもできる多目的大ホール」は、市民の多様な意見を取り込むことで、他の地域と差別化した「越谷らしい」価値を持った施設になると思います。	能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしたいです。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。 今後のマーケットサウンディングや市民参加の取り組みに関するご意見については、参考とさせていただきます。	
--	--	--	---	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
19	(32)	施設整備・機能	限られたスペースにあまり大規模なアリーナなど は必要なく、子育て世代から高齢世代まで幅広い世 代が集える複合施設でないと集客力がないと思いま す。 文化・芸術・スポーツ用ホールの施設も必要と思 いますが、20年が経過するミラクルの後継として、最 新の宇宙科学や自然科学が学べて未来の科学者を育 てる施設、シニア用のカルチャーセンターなど、老若 男女が大勢集える施設が必要と思います。 周辺高齢者には、食料品・日用品の商業施設も必要 です（レイクタウンまでは遠い）。 最上階へのプラネタリウム設置なども如何でしょ うか。 また南越谷地区の災害救助拠点として、屋上ヘリ ポートや自家発電装置、建物内植物工場などを備え るのも一案かと思います。イオン南側空き地の立体 駐車場化も有効。 集客力を高める方法としては、JRや東武鉄道と 共同で、南越谷・新越谷・ヴァリエと連結する立体歩 行路の設置も有効かと思います。できれば、駅前立体 広場開発も。 とにかく、日常的に人集めが可能でないと賑わい と経済効果は望めないと思います。	令和2年3月に策定した「南越谷駅・新越谷駅周辺 地域にぎわい創出事業構想」では、周辺の都市基盤の 整備についても検討することとしています。今後、越 谷サンシティの整備にあわせ、駅からのアクセスの 改善について検討してまいります。 その他いただいたご意見については、今後の事業 参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に 参考にしてまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏 まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」におい て加筆します。	A：基本計画 (案)に反映し ます

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
20	(33)	施設整備・機能	市民ホール施設を同じ規模・用途の施設を建替えるのであれば、改修で十分だと思います。 また、既存の商業棟の階高は4,000mm程度あり他の用途への転用は十分可能です。 コンクリートの一部に中性化がみられる報告もありましたが、再アルカリ化工法により再生は可能です。 今日的な社会的課題であるCO2削減のためにも既存施設の構造体を活かし再生を図ることが好ましく、建築家 青木茂が提唱するリファイン建築を目指すことが世界標準の発想であり、埼玉県が推進する長寿命化対策のマネジメント方針とも合致しているのではないかと思います。 しかしながら、首長が建替えの方針で舵を切るのであれば、事業手法を示すだけでなく事業実施のための具体的な課題や条件を整理し、具体的な対応策や発想を示し事業概念の確定や代替策の検討、ボリューム検討、諸手続きフローの確認、事業費概算等、事業実施のための青写真を、基本計画（案）に落とし込むことが必要であると思います。 新たに創設される「南越谷にぎわい推進室」の健闘を祈ります。	越谷サンシティは、商業施設と市民ホールを一体的に建設（施設運営のための基幹部分についても商業施設の屋上に集中）しているため、商業施設または市民ホールのいずれか片方のみを建て替えるには技術的制約があります。 また、いわゆるリノベーションについては、とりわけ商業施設の機能の転換、さらには、建築から40年以上が経過した施設の長寿命化を踏まえると、相当大がかりな、大規模な改修が必要となってまいります。 したがって、この手法、可能性を全く排除するわけではありませんが、費用面やいずれは訪れる建て替え、といった長期的視点から、施設のリノベーションについては、消極的にならざるを得ず、「建て替え」によって整備を進めていきたいと考えています。 このため、当初のスケジュールのとおり整備していくこととしておりますが、本事業による新たな『にぎわい』の創出および地域経済の活性化がもたらす効果は、この地域のみならず、市域全体の価値の創出に大きく貢献するものと考えています。 さらに、基本計画については、法令等による策定義務や記載内容の定めはありませんが、一般的にはコンセプト、必要な機能、施設の規模、事業手法、スケジュール、事業予算といった項目を記載するものであると認識しております。 基本計画（案）では、コロナ後の施設の在り方や今後の市場の動向を適切に把握する必要があることから、民間事業者のノウハウや創意工夫を最大限引き	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）

				出す要素を残しつつ、施設のコンセプトや「公共施設（機能）」と「民間施設」の考え方などといった方針について、明示しております。	
--	--	--	--	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
21	(34)	その他 (反対)	最初に結論を言えば、「越谷サンシティ整備基本計画（案）」（以下、「基本計画」）の検討棚上げ、延期を求めます。理由は、以下の通りです。 1）新型コロナの収束見通しは立たず、現在の日本政府は収束のための当事者能力を欠いている。 2）新型コロナウイルスのパンデミックで、世界経済の今後の見通しは立たず、「新しい生活様式」の語も、現状は単なる新型コロナウイルス感染防止策について、三密を避ける、マスク装着・手洗い励行などを語っているだけ。 「新しい生活様式」の語は、本来、産業革命以来 200 年余、人類が一貫して追求してきた「便利・快適・豊かな生活」への、根本的な反省と見直しの上に立って新たなライフスタイルを構築することを意味している。パンデミックの収束どころか、ここにきて日本含め世界各国でリバウンドの危惧さえ出てきている。コロナ禍の長期化で、今後どのようなライフスタイルに変化していくのか、誰も未だ語り得ていないし、その具体的な姿が明らかになるまでには、相当な時日が必要だ。 3）「基本計画」の想定事業費は、「意見公募手続き」によると現施設解体費約 25 億円、新施設整備費用 103 億円、としている。しかし、新型コロナパンデミック化で世界各国は、かつてない規模の公的資金をつぎ込んで、コロナ対策に大わらわとなっている。にもかかわらず、新型コロナ収束のめどは立たないどころか、ヨーロッパ各国や日本をはじめ、リバウンド、パンデミック第 4 波の	本市においては、今後、人口減少や市税の減収が見込まれる一方、少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策等経費の増加が見込まれており、厳しい財政状況が見込まれます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による景気低迷に伴い、感染症対策に関する経費の増加が予想されます。 こうした状況の中、越谷サンシティの今後のあり方には、「時間をかけて検討すべき」「段階的に作っていく考え方もある」といったご意見もいただいておりますが、現在は、市が施設の管理・運営を行っており、費用負担が恒常的に生じていることを鑑みても、この状況を長期にわたって続けるには一定の限界があると考えています。 また、現在の越谷サンシティが建築から 40 年以上が経過し、施設の長寿命化を踏まえると、相当大がかりな、大規模な改修が必要になります。 このため、当初のスケジュールのとおり整備していくこととしておりますが、本事業による新たな『にぎわい』の創出および地域経済の活性化がもたらす効果は、この地域のみならず、市域全体の価値の創出に大きく貢献するものと考えています。	C：その他

懸念さえ出ている。これら際限のない公的資金投入の結果の一端が、日本の株式市場で2月15日の日経平均株価が、30年ぶりに3万円を突破したことに表れた。落ち込んだ実体経済との乖離により、数カ月以内に株価をはじめとしたバブル崩壊の危機を、多くの経済学者は指摘している。

越谷市の財政支出を見ると、直近で新市庁舎建設で100億円弱を投じている。サンシティ関連で、KCP（越谷コミュニティプラザ）撤退に伴い、30億円余をすでに支出している。一方コロナ禍による市税収入は、来年度は25億円の減収を見込んでいる。減収予測はこの額で、本当に大丈夫か。もっと落ち込まない保証はあるのか。さらには、市税の減収は、今後いつまでどのような規模で推移するのか、これも現状では予測不可能のはずだ。

新型コロナ収束が見込めないどころか、緊急事態宣言の延長にもかかわらず、むしろ首都圏はリバウンドの様相を呈している。にもかかわらず菅政権は、無謀にもオリンピック・パラリンピックを強行しようとしている。ワクチン接種の計画どころか、ワクチンそのものの入手のめどさえ立っていない。今やワクチンの各国による奪い合いの様相さえ出ている。このように先が読めない経済状況と、市民・国民生活の変化の方向が見えない今、これだけの資金（税金）を投じるのは、市民への背信である。市の財政にとっては大きな負担となる130億円近い巨費を投じる時期ではない。

『新版ウイルスと人間』（山内一也東京大学名誉教授、日本ウイルス学会名誉会員、岩波書店科

学ライブラリー)によると、過去約70年間にエマージングウイルス(突如として出現してくるウイルス)は、21種あり、とりわけ2000年代に入って2003年のSARS以降新型コロナウイルスまで7種が発生。そのテンポは高まっている。

本来、一つの新たなウイルスについてワクチンや特効薬開発は5~10年かかるとされている。新型コロナウイルスのワクチン開発は、異例のスピードだが、その副反応や変異株への有効性は、不明である。人・物の移動が当たり前となり、その上移動の量・スピードが激化している。あらゆる物・人の世界的移動を止められなくなっているグローバル化の日常化の中、さらには地球温暖化の加速化に一向に歯止めがかからない状況下では、いつまた新型コロナウイルスに次ぐエマージングウイルスの発生による人類生活の混乱が今以上に増幅した形で出現するか、懸念しないわけにはいかない。

日本の今の政治状況を見る時、安倍前政権から続く、自民党などの長期政権下で、自浄作用が低下。その矛盾が噴出しているのが、現菅政権である。パンデミック禍で本来なら、とても実施不能なオリンピック・パラリンピックをゴリ押ししようとしているが、菅首相長男をはじめとする政府・官僚の会食接待疑惑など、菅政権は右往左往し、私たち国民の窮状に手を差し伸べるどころか、新型コロナウイルス対策も後手後手に回っている。

繰り返しになるが、今後の世界経済、日本経済の見通しが全く立たないうえ、私たちのライフ

		タイル、生活者ニーズがどのように変化するか見通せない状況下で、市にとって大きな財政負担が必至の大プロジェクトである「越谷サンシティ整備基本計画（案）」は、当面棚上げとし、しかるべき時（その時期についても今後市民の声を聴きながら）検討していくべきである。 当初計画したスケジュールありきでなく、かつてないパンデミック禍で、先行き見通しが立たない中、今市民にとって何が必要か優先して、本来の地方自治体・市の役割の基本に立ち返って、再考慮願いたい。		
--	--	---	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
22	(35)	施設整備・機能	私は、娘が吹奏楽部に入っている市民です。 市の計画を読んで市民ホールは絶対に作ってほしいと思いました。 大きなホールでえんそう出来る娘が楽しみにしているので宜しくお願い致します。 大規模なアリーナは、さいたま市にあるし都内にもあるので越谷には不要だと思います。 越谷市の計画通りにすすめて下さい。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
23	(36)	施設整備・機能	私は、越谷で生まれ育ち、現在、市内の公立小中学校へ子供を通わせている市民です。基本計画などを読んで感じたことを意見させていただきます。私の勘違いであれば申し訳ないのですが、現在あるホールをサイズを大きくし、スペックも高くするというのが市の考えであれば大賛成です。私自身、小中学校では、合唱、合奏コンクール、吹奏楽部に所属していたので、学校活動においてホールでの経験が非常に思い出にあります。資料の中には、横浜アリーナを意識したような考えもあるようですが、そのような施設は反対です。 私が昔から知っているあの地にそのような施設があっても、子供から高齢者まで、親子連れなどが日常的に利用しているイメージが湧きません。著名なアーティストやナショナルレベルのスポーツイベントがある日は多くの人々が訪れるでしょうが、それはあくまでその日だけ盛り上がっているにすぎませんし、なにより近隣住民は迷惑なのではないでしょうか。駅近に非常にグレードの高いホールがあって、それを学生や一般人が利用できる、それが一つのシビックプライドの醸成に結びつくものだと思います。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていきたいと思います。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
24	(37)	施設整備・機能	P.21(2)民間施設の方向性に多目的大ホール（アリーナ）を核とした「複合施設」の建設についての意見がありますが、1万人規模のイベントは毎日行われるわけではなく、稼働率が悪いと思います。また、電車で1時間圏内にさいたまスーパーアリーナがあり、南越谷に建設するのは近すぎると思います。さらに、南越谷周辺の治安が悪くなることも懸念され、地域住民が安全・安心に暮らせるか不安が残ります。 今まで通り図書館や出張所などの行政機関や大（2000席）中（1000席）小（500席）、展示ホール程度の文化施設と屋外フェスなどもできる全天候型（可動屋根開閉システム等）のテラス的な要素を含んだ緑ある空間など自然と人が集まる場所の方が、天候に左右されず誰もが利用できる施設になると思います。 そして、何よりも地域住民が安全・安心に暮らしやすく、にぎわいを創出できる施設が建設されることを願っております。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2)民間施設の方向性」において加筆します。 また、「屋外フェスなどもできる全天候型（可動屋根開閉システム等）のテラス的な要素を含んだ緑ある空間など自然と人が集まる場所」については、公共施設（機能）の一つとして、市民が憩える場となり、市民団体や民間事業者が行うイベントが開催できる広場の整備を掲げておりますので、十分に参考にしていまいります。	A：基本計画（案）に反映します

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
25	(38)	施設整備・機能	■本パブリックコメントの前提 ・筆者は、越谷市在住の民間企業会社員である。 ・筆者は、本整備基本計画において利害関係があるプロバスケットボールチーム・越谷アルファーズをボランティアとして支える立場であるが、越谷アルファーズのために本コメントを提出しているものではない。 ・過去、スポーツ・イベントの運営に従事した経験や、観客として全国のスポーツイベント会場へ訪れた経験値を基に本コメントを作成しており、一部正確な情報に基づかないものがある。 ・整備検討にあたっては、然るべき経験値のある事業者をアドバイザーとして迎え入れた上で整備規模を決定するように願いたい。 I. 整備計画の方向性について ・現施設を取り壊し、新たに多目的アリーナと公共施設と宿泊施設を備えた複合ビルの整備を行うべきと考える。その理由について下記4点を言及する。 (1) 首都圏における屋内型イベント施設の現状 (2) 国際的な催事・スポーツイベント誘致の可能性 (3) 大きな地域資源である「越谷アルファーズ」の活用 (4) 県内の宿泊施設不足 (1) 首都圏における屋内型イベント施設の現状 ・首都圏においては、屋内型イベント施設の需要は高く、特に 10,000 人程度の規模の施設は各競技団体	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいます。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。 その他いただいたご意見については、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいます。	A：基本計画（案）に反映します

が安定的に活用している他、それ以外にも需要が高く稼働率も高いと考える。

施設名	収容人数
東京ドーム	約 50,000 人
さいたまスーパーアリーナ	20,000 ～ 30,000 人
横浜アリーナ	約 17,000 人
国立代々木競技場第一体育館	約 13,000 人
両国国技館	約 11,000 人
有明コロシアム	約 10,000 人
東京体育館	約 10,000 人
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館	約 3,000 人
国立代々木競技場第二体育館	約 3,000 人

※横浜アリーナ、国立代々木競技場第一体育館、両国国技館、有明コロシアム、東京体育館については、各屋内競技の他、コンサート等の需要が高く稼働率が高い。

(2) 国際的な催事・スポーツイベント誘致の可能性
・東京2020の他、RWC2019等、国際的なスポーツ大会の誘致が続いている。

特に屋内競技においては、前述の施設を確保することが難しく、已む無く5,000人規模の会場や地方の会場にて国際大会を開催する事例もある。

例：2018年9月17日開催

FIBAバスケットボール・ワールドカップ2019
アジア地区予選2次ラウンド 日本 vs イラン
会場＝大田区総合体育館

(収容人員：約4,000人＝満員)

(3) 大きな地域資源である越谷アルファーズ」の活用

- ・2017 年に越谷市を拠点としたプロバスケットボールチーム・越谷アルファーズが成績面での B1 への昇格が現実味を帯びている他、下部組織として U-15 チームの創設など、越谷を中心とした地域活動が徐々に広がっている
- ・B2 昇格後すぐにコロナ禍で観客数制限を設けているが、それでもなお 1 試合 1,000 人以上が来場している他、対戦相手のクラブを応援する県外からの来場者も増えてきている。
- ・現在の越谷市立総合体育館は、設備・収容人員等から B1 ライセンスに適合していないと判定される可能性が高く、成績面で昇格できる状態であっても、B1 への昇格が叶わず、状況によっては、越谷から離れる判断をされる可能性もある。

(4) 県内の宿泊施設不足

- ・埼玉県東部地域においては、需要がないこともあり宿泊施設がかなり少ない状況である。
- ・また、県都さいたま市においても、宿泊施設の少なさは顕著であり、さいたまスーパーアリーナでの大規模行事開催時においても、都内へ宿泊施設を求める観客・関係者が多く見受けられる。
- ・中規模多目的アリーナを整備し、国際的行事を誘致する場合には、県外からの来場者の需要があるため、宿泊施設の整備も必要であると考える。

II. 整備効果について

- ・本再整備を行うことで、イオンレイクタウンが開業した 2008 年以降商業施設の撤退など「にぎわい」を失った南越谷地域に「にぎわい」を取り戻し、地域

商業の活性化を図ることが可能であると考えている。

- ・更に、県外からの来客が見込めることから、地域経済の活性化も図れると考えられる。

Ⅲ. 整備時の懸念とその解消

- ・本施設を整備するにあたり、費用面の懸念以外にも越谷サンシティ整備懇談会において懸念となった事象があるが、南越谷地域と連携した活動により、その懸念を解消できると考えている。

(1) 催事終了後の南越谷駅・新越谷駅の混雑集中

- ・越谷サンシティ整備懇談会において、催事終了後のJR 南越谷駅・東武鉄道新越谷駅の混雑集中を懸念する声が見受けられた。

背景としては、埼玉スタジアム2002の最寄り駅である、埼玉高速鉄道・浦和美園駅の混雑集中を例示されている。

埼玉スタジアム2002は、63,700人収容と規模が異なるほか交通事情も異なる。そのため、次頁の通りその懸念は地域と連携して解消できるものと考ええる。

埼玉スタジアム2002

交通事情：向かう方向が1方向しかなく、1列車の車両数も6両と少ないことから、一度に捌ける人数が少ない。

周辺事情：スタジアム～最寄り駅の間にはアクセス歩道のみであり、催事主催者が滞留させる施策を取らなければ、駅へ向かうしかない状況

越谷サンシティ

交通事情：4方向に分かれ、かつ1列車の車両数も7～10両あるため、捌ける人数は多い。

		周辺事情：駅周辺に飲食店が多く存在し、興行終了後に飲食していただくことで経済効果はもちろんのこと、駅へ向かう観客の分散化が図られる。 ・その他にも、施設と主催団体・地域商店街が連携し、来場者向けのサービスを提供するなど、地域経済の活性化と分散化を図ることを並列して取り組むことが可能である。併せて地域として県外からのお客様を「もてなす」ことにより、再来訪いただける期待も生まれる。 【具体的事例】 長崎県諫早市「V・ファーレンロード」 Jリーグ「V・ファーレン長崎」のスタジアム最寄り駅から、スタジアムまでの道中にある商店が、来場者に対して試飲・試食などでもてなし、Jリーグ随一の人気となっている ▶V・ファーレン長崎 HP・V・ファーレンロードを参照 IV. 整備できなかった場合の懸念 ・多目的アリーナを整備できなかった場合、市外・県外からの来訪者は限定的となってしまうことが容易に考えられ、南越谷地域の経済は頭打ちになると想定される。 ・プロバスケットボールBリーグにおいては、本拠地域内に施設整備ができなかったために降格処分や地域撤退（本拠地移転）を行った事例が現実的に発生しており、越谷市も他人事ではない。 ・ライセンスに関連したBリーグクラブの本拠地移転事例 東京エクセレンス （東京都板橋区→神奈川県横浜市）	
--	--	--	--

		B リーグ発足時の 2016-2017 シーズンと越谷アルファーズが昇格した 2019-2020 シーズンの 2 度に渡って条件付きで B2 へ参戦した。 しかし、1 度目は板橋区の整備調査が白紙撤回されたため、2 度目は新設予定であったアリーナが白紙撤回されたためそれぞれ B2 ライセンスが交付されず、成績に関わらず降格(2 度目は分配金が交付されない制裁も受ける)となった。 ⇒2021-2022 シーズンより本拠地を横浜市へ移転。 群馬クレインサンダーズ (群馬県前橋市→群馬県太田市) 現在本拠地としている前橋市内に B1 基準を満たしたアリーナが整備されていない状況である。 そこで太田市が B1 基準に対応した施設を整備するなど、地域として B1 クラブの誘致に本気で取り組んだ結果、2021-2022 シーズンより太田市へホームタウンを移転。		
--	--	---	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
26	(39)	コンセプト	■再開発は高度利用をお願いします。 越谷サンシティがある南越谷(新越谷)は、埼玉県東部の東武鉄道沿線で最大の乗降客があり、JR 武蔵野線も乗り入れている好立地の場所です。そのため、高度利用（高層化）が最適です。 なお、容積率400%は、南越谷の土地利用を考えると、低いと考えます。他の自治体でも再開発時に県・都等と協議して容積率を増加してから開発する例が多くありますので、是非とも検討をお願いします。（後述する「市の負担・借金を増やさない」にもつながりますのでお願いします） （南越谷の地理的条件や、市のランドマークとするためにも、沿線随一のタ高さが好ましいと思います。また、豊島区役所のように上部をマンションにする場合は、戸数を増やすことが出来、市の負担・借金を減らすことが出来ます。平面的なレイクタウンに対し、垂直的（摩天楼的）を含めた施設にしてほしいです。） ■国や県などの補助金で該当するものがあれば活用をお願いします。 市街地再開発事業など、少しでも補助金が活用できるものがあれば、活用をお願いします。 ■郷土愛を育てるためにデザイン性のある建物にしてほしいです。 アールデコ調のデザインの高層ビルのデザイン （ここまで斬新なデザインは必要はないと思いますが、素晴らしいデザインの施設をお願いします。）	「再開発は高度利用を」とのご意見ですが、新たな越谷サンシティについては、「都市再開発法」による市街地再開発事業の予定はありませんが、民間事業者の参画意欲や専門性かつ自由度の高い提案の妨げとならないよう「都市計画法」や「建築基準法」などの関係法令に基づき進めていく予定です。 また、「国や県などの補助金で該当するものがあれば活用」のご意見については、市も同様の認識であり、国、県をはじめそれらの外郭団体などの補助金等を積極的に活用するよう検討してまいります。 越谷サンシティ南側の駐車場を含めた再開発や東武線沿いの道路拡幅を含めた再開発については、現在、予定はありませんが、その他いただいた施設機能や付随施設についてのご意見については、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていまいります。 なお、「デザイン性のある建物」とのご意見のとおり、デザインも大変重要な要素のため、11ページ「①シビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

■郷土愛を育てる施設として、展望台を設置してほしい。

越谷の郷土愛を育てるのには、展望台がいいと思います。北とぴあ（王子駅前にある北区の文化施設）のように高層化し、展望台（展望レストラン含む）を設けてほしいです。

（市の清掃工場にも展望台があり、良く行きますが、残念なのは市街地から遠く、あまり親近感が持てません。サンシティの場所は市中心部にあり、東武線車両や、武蔵野線、市街地も良く見え、展望台としては最適です。）

■大ホールについては、立派な設備のホールとしてほしい。

越谷サンシティには、劇団四季など、一流の劇団・オーケストラ等が来るので、一流の劇団等が十分に演じられるよう、立派な舞台装置あるホールとしてほしい。

■図書館は立派なものの設置してほしい。

東越谷の図書館は車でないと行けないので不便ですが、サンシティの図書館は市の中心部にあり、駅も近く便利です。大人が通勤帰りにも利用できるハイセンスで立派なものにしてほしいです。

■付随施設については、現状ある商業施設・飲食店等は入れてほしい。

現在、サンシティにはイオン南越谷店および飲食店などがありますが、新しいサンシティにも、商業施設、飲食店等は必須です。無くなると近隣住民も含め、サンシティ利用者にとって非常に不便です。（収益が良くないと聞いていますが、新サンシティ設置を機に、良い商業施設、飲食店を入れて下さい。）

		・サンシティ南側も一緒に再開発し計画道路に接続させる。 ・周辺道路の改善の検討 ・駐車場出入口の改善の検討 サンシティ南側のイオン駐車場や民間駐車場も一緒に再開発（あいだの東西道路は廃道し、通行確保のため両端に道路新設）して、南側の都市計画道路に接続できるようにしてはどうでしょうか。（再開発での高度利用ができる） また、イオン南越谷店及びその南側マンション（東武線沿い）北側への一方通行道路も再開発により、道幅を広くするなどして両面通行にした方が、利便性が高まると思います。 （現在のサンシティ地下駐車場へは計画道路の1つ北側の道路から入るため利便性が悪いです。またレイクタウンのように駐車場への出入口は複数場所（北・南など）あった方が便利です。）	
--	--	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
27	(40)	施設整備・機能	他方から意見を聞きつつ検討を進めていると思いますが、現行施設のような特定の興行開催の種類に限られる形（音楽ホール）での継承に留めることは、有益であるとは思えません。 私自身、幼少期は何度の家族とサンシティを訪れ、映画鑑賞や小中学生時には音楽ホールで発表会等も経験してきて、良き思い出となっています。 79年の施設会館から今日まで越谷市民の文化面を支え貢献してきたことは間違いないのですが、レイクタウンによる人口増などにより居住世代が代わり、疲弊している南越谷中心地の新たな文化の創出には、多目的アリーナが最もにぎわい創出に適していると考えています。 現在コロナによって人流をとまなうイベントは開催できない状況が続きますが、数年後には戻ってくるものと思います。 まだまだ人口増と発展の可能性をもつ越谷に、ぜひ新しい文化の核となる多目的アリーナを南越谷の中心地に設けていただければと思います。	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていきたいと思います。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「(2) 民間施設の方向性」において加筆します。	A：基本計画（案）に反映します

NO	該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
28	(41) 施設整備・機能	事業構想の(1)～(3)の要件を満たす機能を持つ以下の施設を提案します。 ■ 提案施設 * アリーナ * 広場 * 宿泊施設 -- 下層階：ホール、図書館、出張所 -- 高層階：ホテル機能 ■ 全体的な構想 * 新越谷・南越谷駅前エリア全体への経済効果を中心に考える * 越谷レイクタウンをはじめ越谷観光の拠点となる ■ アリーナ * 貴重な駅前、街中の立地 * 8,000人規模の収容 -- コンサート、MICE、プロスポーツ（越谷アルファーズのホームアリーナなど） -- 市民イベントの会場（阿波踊り、産業フェスタなど） * 総合体育館とのすみわけ -- 市民スポーツは総合体育館 -- プロスポーツやコンサートなどの興行は新アリーナ * 防災機能を備え、もしもの際の避難、支援の拠点となる * 資金のスキームはPFIを中心に考え、事業責任の明確化をする * 他のアリーナの例	現在の越谷サンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたことや、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ、公共施設（機能）の一つとして、現状のホールと同規模以上のイベントホールを整備してまいりたいと考えています。 一方で、イベントホールは、例えば、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々な形態が考えられます。 このため、「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示していますので、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていきたいと思います。 なお、いただいた「アリーナ」に関するご意見を踏まえ、21ページ「（2）民間施設の方向性」において加筆します。 その他いただいたご意見については、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしていきたいと思います。	A：基本計画（案）に反映します

		-- 横浜と越谷の違いを考慮しても、越谷では消極的な意見が多く妥当な事業者が参加していないのでは？ https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/sports/shinko/saiseibi/taiikukan/buntai-sounding.files/0001_20180711.pdf ■ 広場 * 年齢にかかわらず市民が憩得える場所 * アリーナに集まった人の滞留場所 * 災害時の一時集合場所 ■ 宿泊施設 * 越谷市の課題である課題である宿泊施設不足の解消 * アリーナ、レイクタウン、越谷市の観光に来た人向けの宿泊施設 * 低層階にはホール、図書館、出張所などの公共施設を備える * 定期借地権などで民間に貸し出し、民間の資金で施設全体を運営、公共施設は市が借り受け指定管理者制度で運営者を選定 以上となります。 どうぞ、よろしくお願いいたします。		
--	--	--	--	--

NO		該当箇所	意見（全文）	市の考え方	区分
29	(42)	コンセプト	このたびの基本計画の策定に敬意を表します。それぞれ特徴のある活発な意見を拝見し、この計画が素晴らしい将来を見据えた整備として一刻も早く実現することを大いに期待しています。その中で意見を述べます。施設内容については多数の案が出て数施設に固まりつつあると思うが、それを具現化する建物整備については、公園をメイン整備としてその中に単独高層棟を整備するということを希望します。ランドマークとして市内のどこからでも見える超高層で斬新なデザインの建物なら注目度集客率はあがり、その周辺を開放的な公園や広場とするなら東西南北どこからでもアクセス可能となり防災上の利点もあります。忘れてはいけないのが、景観の推進です。せっかく文化的な整備をしたのに、現状のようにすぐ上を高圧線が走っているような所は市のシンボル強いては中核都市といえますか。景観条例に基づき周辺の鉄塔、電柱を含め地中化し、建物整備と一体となるような周辺景観に配慮した整備とならなければ税投入の意味がありません。多額の税投入を行う市の本気度を注視していきます。	基本計画（案）においては、施設のコンセプトの一つに「市民のシビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成」を掲げています。ご意見にある「超高層で斬新なデザイン」については、今後の事業参画の可能性のある事業者との対話のなかで十分に参考にしてまいります。 「周辺景観に配慮した整備」にある「電柱の地中化」については、市として検討を進めていく予定ではありますが、現時点で、施設周辺の電柱の地中化の計画はありません。 なお、高圧線や周辺の鉄塔の地中化については、現実的に難しいと考えております。	B：基本計画（案）には反映しません（今後の整備の参考とします）